



バレーボールを楽しんでいる子どもたちの保護者の皆さん、子どもたちと日々真摯に向きあいバレーボールの指導に励んでおられる指導者の皆さん、こんにちは。今回のKJVA だよりのテーマは・・・「子ども、保護者、指導者が繋がりに、子どもの成長と一緒に楽しむために」😊 広報部員のつぶやきから、少し理論的なお話まで、まずは一度目を通していただき、これからの指導の在り方やチーム運営を振り返るきっかけの1つにいただけたら幸いです。

個人的な話になりますが・・・小学2年生の頃、放課後校庭で遊んでいると、何やら体育館から楽しそうな元気な声が！体育館に近づき、こっそり小さな窓からのぞき込むと、そこには楽しそうにバレーボールの練習に励んでいる小学生が。急いで家に帰り、「私、バレーやりたい！」と親に交渉。無事に成功しついに入部！その後は練習や大会の日を楽しみにしていました。大会時の当時の流行りは、他チームとの「名刺交換」や「サイン帳交換」(笑)。



大会でいかに友だちを作るか！ということが流行り♪そして「文通😊😊」開始。今のように携帯電話はなかったので、大会での手紙のやり取りを楽しみにしていたことを覚えています。大人になって文通相手と〇〇年ぶりに再会し、今では子どもが同じチームでバレーボールを楽しんでいます。バレーボールで人が繋がる！?...さて本題に入ります。

「バレーボールの魅力」って何でしょうか？



私が考えるバレーボールの魅力は「**仲間と一緒にボールと心を繋ぐスポーツ**」であること。

バレーボールに対する一人ひとりの想いはきっと違うと思います。

そこで、私の所属している部の子どもたちに聞いてみました😊😊😊😊😊😊...

- ♥仲間と繋いだ1点や自分のトスで決まった1点が嬉しいし、**みんなで繋ぐバレーが好き** (5年生)
- ♥失敗しても励ましてくれるし、負けたら悔しいけど**次にどうすればいいか考えられるようになること** (5年生)
- ♥同じ・違う学校の子たちとバレーをして、**友だちのいろんなことを知ったり、一緒に成長できたりすること** (5年生)
- ♥バレーボールは1人じゃなくて、**友だちみんなで助け合って協力してできるところ** (5年生)
- ♥仲間と一緒に練習、試合して勝った時、**みんなで喜びを味わえること** (5年生)
- ♥ミスしてもみんなが責めなくてドンマイと**励ましてくれるところ** (5年生)
- ♥アタックが**決まったら嬉しいし、ボールが繋がると楽しい** (5年生)
- ♥みんなで**力を合わせて楽しくできる**ところ (5年生)
- ♥コート内(すぐ近く)でメンバーが自分のプレーを見てくれて、**励ましてくれたり、こうするといいよと教えてくれたりするの嬉しい** (4年生)
- ♥ボールを繋いでみんなと**仲良くなれる、ボールが落ちるまでみんなであきらめないところ、誰かがミスしても励まし合える**ところ (4年生・1年生)
- ♥バレーは1人が強くても勝てない→**チームみんなで協力することが大事ということが学べる** (4年生)
- ♥ミスしても**助けてくれる仲間がいる**ところ (4年生) ♥**ボールを繋ぐこと** (4年生)
- ♥他のチームの子とも**仲良くなれる**ところ (4年生・3年生・1年生)
- ♥思いやりが持てるし、**みんなの心が1つになって一丸となれるところがいい** (3年生)
- ♥バレーボールをしていたら縄跳びの**二重跳びができるようになったこと**😊 (3年生)
- ♥サーブ、レシーブ、アタックして、**みんなで繋いで点を取ることが楽しい** (3年生)
- ♥違う学年や違う学校の**友だちがたくさんできる**ので嬉しい (3年生)
- ♥**運動神経が良くなって背が高くなる**ところ😊 (3年生)
- ♥ミスしても**友だちが励ましてくれる**ところ (3年生)
- ♥メンバーと**一生懸命ボールを繋ぐ**ところ (3年生)
- ♥レシーブが下手でもアタックができなくても、**自分で点がとれる瞬間(サーブ)があるからバレーが好き** (2年生)
- ♥サーブが入った時やレシーブがきれいに上がった時に、**やる気が出て嬉しくなる** (2年生)
- ♥サーブカットやラストボールがうまくできた時に**みんながほめてくれる**ところ (2年生)
- ♥サーブやアタックが**できるようになった時が嬉しい** (2年生)



子どもたちが感じている魅力って...どれも素敵だなと思いました。ぜひお子さんにも聞いてみてください😊❤

バレーボールの魅力を大切にしながら、子ども、保護者、指導者が一体となって子どもたちの成長を楽しみたいですね。では、そのために何ができそうか考えてみたいと思います。

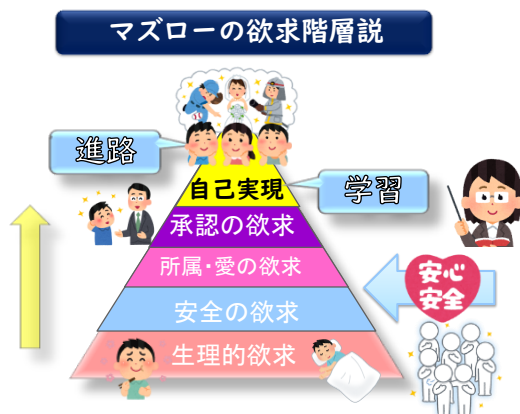


「マズローの欲求階層説」はご存知でしょうか？

下位欲求が満たされることにより、上位欲求が生じてくる
とされています。例えば、「食べたい・寝たい等」の生理的欲求が
満たされることによって、安全の欲求が生じ、それが満たされること
によって所属したい・愛されたい（気にかけてほしい）欲求…承認の
欲求…自己実現の欲求が表れてくるということです。

すなわち、子どもたちが「この部に所属したい」「認められたい」
「～みたいになりたい」「もっと～でありたい」という気持ちになる
前提には、「安全で安心できる気持ちでバレーができる部だなあ」と、
子どもたちが感じていることが重要です。

私たち大人は、子どもたちが切磋琢磨しながら仲間とともにバレーボールを楽しみながら成長していけるよう、
『安心安全な環境を整えてあげること・安心安全な居場所づくり』が大切になってきます。



では、**安心安全な居場所づくり**において、どのようなことができそうでしょうか？

以下が全てではありませんが、指導者😊と保護者😊にできそうなポイントを少しまとめてみました。

❁ **ルールやマナー**は、子どもたちがお互いに相手を大事にし、気持ちよく関われる関係づくりや居場所づくりのためにあります。ルールやマナーは、時には教えることも必要ですが、子どもたちに気づかせること！も大切です。部の中に、ルールやマナーが守れている子とそうでない子がいた場合、守れている子に注目させてほめることもあると思います。その時に、なぜその行動がよかったのか、子どもたちに問いかけてみるのもいいですね。そして、「その行動があることによって、みんなにどのような影響があって、どんな気持ちになるのか」ということに気づかせ、時には指導者や保護者が**Iメッセージ（自分の気持ちを伝えてみること）**で伝えてみるのはいかがでしょうか。

子どもたちがほっとする温かい声かけのポイント

① ほめる **【肯定ユーメッセージ】**

「えらいね」「すごいね」「上手だね」

② 勇気づける **【肯定アイメッセージ】**

「ありがとう」「うれしい」「助かった」

③ 認める **（事実を伝える）**

「〇〇してくれたおかげで、～になったね」

- 年齢・発達段階/特性に配慮することで、よりよく「伝わる」言葉に！（声のかけ方・タイミング・場所・集団？・個別？）
- できている時やがんばろうとしている時に注目するアンテナ！
- **プロセス（過程）**を大切に！

ポイント

- ❁ 年齢や発達段階に応じた声かけを！
- ❁ 個別に声をかけた方が良さそうか、集団の中で声をかけた方が良さそうかの判断を！
- ❁ 勝利は共に喜び合いますが、負けた結果だけにこだわらず、頑張ろうとしている瞬間や小さな成長に目を向けるアンテナをもち、プロセス（過程）を評価し、認める声かけを大切に！
- ❁ できた時にすかさず声かけを！
- ❁ 指導者からお子さんの頑張りを伝え聞くこともあると思います。ぜひ、保護者の方からもお子さんに温かい声かけをお願いします。

子どもたちが「バレーボールって楽しい😊」「友だちと一緒にバレーボールができて嬉しい😊」「仲間と一緒に戦えて、勝っても負けても楽しかった😊次もがんばりたい！」「練習が楽しみだな😊」と思えるような子どもたちの姿を目指していきたいですね。今後も、子ども、保護者、指導者が繋がり、子どもたちの成長と一緒に楽しむことができるよう、保護者・指導者の皆様のお役に立てるようなKJVAだよりを作成していきたいと思っています。

お忙しい中、読んでいただきありがとうございます😊